

腰椎固定術を受けられる患者さんへ

患者氏名:

主治医:

受け持ち看護師:

項目	月日	入院日	手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目 月 日～退院まで	退院後からの注意事項
達成目標		- 手術に向けて体と心の準備ができる。 - 手術後の状態について、不明な点は医療者に質問し理解できる。 - 発熱がない。 - 手術に必要な物品の準備ができる。 		- 手術に向けて体と心の準備ができる。 - 食べたり飲んだり出来ないことが守れる。	- ベッド上安静を守る事ができる。 - 痛みや吐き気がある際は医療者に伝えることができる。 - 足関節の底背屈運動をすることで、足の血流を促し肺塞栓を予防することができる。 - 腰部の安静を理解し、守ることができる。		- ドレーンが抜けて歩行または車椅子に移乗できる。 - 転倒予防行動をとることができる。 - 痛みがある際は医療者に伝えることができる。 - リハビリテーションに参加できる。 - コルセットを正しく装着することができる。 - 安静度が理解できる。 - 足関節の底背屈運動ができる。 - 胸痛や胸部症状が出現した時医療者に伝えることができる。	- 転倒予防行動をとることができる。 - 痛みがある際は医療者に伝えることができる。 - 発熱がない。 - リハビリテーションに参加できる。 - コルセットを正しく装着することができる。 - 腰に負担をかけないように注意できる。 - 安静度が理解できる。 - 足関節の底背屈運動ができる。 - 胸痛や胸部症状が出現した時医療者に伝えることができる。 	退院後異常があるときは、早めに連絡し受診する事ができる。
治療・薬剤 (点滴・内服) ・処置 ・リハビリ		現在内服しているお薬は医師の指示に従ってください。 	21時頃に下剤を飲みます。	- 朝5時～6時に洗顔を行います。 - 指示された薬のみ内服します。 1番目の方は8時頃に手術室へ行きます。 2番目以降の方は、病棟で点滴を行い、連絡が来たら手術室へ行きます。	- 点滴、酸素マスク、ドレーン、尿の管があります。 - 心電図モニターと肺塞栓症予防のために足にフットポンプをつけます。 - 痛みがあるときは、軽い痛みでも痛み止めを使いますのでナースコールでお知らせください。 	- 今まで飲んでいた薬を再開します。 - 新たに鎮痛剤の内服が開始となります。 - 内服薬の自己管理が出来るまで看護師が配ります。 - 抗生物質の点滴があります。	- 傷の消毒を行い、ドレーンを抜きます。 - 抗生物質の点滴があります。 - リハビリテーションが始まります。 - リハビリテーション室は2階にあり、時間は朝に看護師が伝えます。 	- 手術後11日～14日の間に傷を確認し換糸を行います。 - リハビリテーションを頑張ります。	<退院後の生活について> 【腰に負担をかけない】 【医師の指示通り、コルセットをつけて動きまわろう。正しい位置で、しっかりとしめないと効果が得られませんが、注意しましょう。医師の許可があるまでコルセットは外せません。 【重い荷物を持ちたり、腰をひねる。過度に腰を曲げるなどの動作を避けるようにしましょう。】 【洋式トイレを使用】 【和式トイレにはかぶせ式便座を使用しましょう。】 【入浴の際の注意点】 【滑り止めや浴用椅子を使用しましょう。】 【体重コントロールについて】 【標準体重を目標としましょう。】 【感染予防について】 【創部の異変や発熱が持続するなど、異常を感じた場合はすぐに医療機関を受診してください。】 【転倒予防について】 【入院中に実施していた転倒予防行動を継続し、転倒しないように注意してください。】 【外來受診とリハビリテーションについて】 【定期的な外來受診や、リハビリテーションを継続します。】 【内服について】 【退院後も続く内服薬がある場合は継続して内服します。】 ・退院後初回再診日まで、不明な点、不安な事がありましたら下記連絡先に電話してください。
検査		- 昼食の前に採血があります。 - 心電図、肺機能、レントゲンがあります。検査の呼び出しは連絡があるのでお待ちください。 - 尿検査がある方は原コップを渡します。尿は14時までに出してください。 	必要な検査がある場合のみ行います。	特にありません。 	手術後に採血があります。 	朝食前に採血があります。 	必要な検査がある場合のみ行います。		
活動・安静度		- 特に制限はありません。 - 転倒予防のため必ず踵のある靴を履きましょう。		特に制限はありません。 	- 手術当日はベッド上安静です。 - 腰部の安静のため、1人で体の向きを変えることはできません。ナースコールでお知らせください。	- ベッド上安静になります。 - ベッドのリクライニングの頭を上げることができません。 - ドレーンの抜去防止のために看護師がベッドの操作を行いますので、ナースコールでお知らせください。 1人で体の向きを変えることはできません。ナースコールでお知らせください。	- コルセットの装着を開始します。コルセットを着け、歩行器で歩行を開始します。 - 初回の歩行は医師または看護師と一緒にいきます。 - 医師の許可があるまで、必ず看護師と一緒に移動しますので、トイレや移動の際はナースコールでお知らせください。	医師の許可があれば1人で歩行器歩行が可能となります。 	
食事		- 昼食よりお部屋に配膳します。 - 食事でアレルギーがある方はお知らせください。 	絶飲絶食の時間は麻酔科医師の診察後にお知らせします。	麻酔科医師の指定された時間まで水分(水・お茶のみ可)を摂ることができます。絶飲絶食の時間をお守りください。 	手術当日は絶食になります。飲水は看護師の指示に従ってください。	手術前と同様の食事が始まります。			◎ 平日8時～16時 整形外科外来 (0985) 85-9885 ◎ 時間外、土・日、祝日 2階東病棟 (0985) 85-1743
清潔		- シャワーに入ってください。介助が必要な方は看護師が介助を行います。 - 手足の爪切りを行います。 - 化粧やマニキュア等はとってください。		シャワーや体拭きはできません。		- 看護師が体を拭きます。 - 医師の許可が出るまでシャワーには入れません。 - 洗髪は患者さんと話し合いながら計画を立てていきます。 	手術後の傷などを医師が確認し、シャワーの許可が出ます。シャワーの許可が出たら、看護師がシャワーの介助をします。		
排泄		医師の指示がなければ、特に制限はありません。 		特に制限はありません。	- 尿の管は入れたままです。 - 便意がある時は看護師にお知らせください。ベッド上安静のため、オムツを使用しての排泄となります。	- 尿の管を抜きます。 - 排尿と排便はトイレで行う事ができます。			
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導		- 病棟クラーク(事務職員)が病棟の案内を行います。 - フリーカルパスに沿って手術前オリエンテーションを実施します。 - 主治医から手術説明、麻酔科医師から麻酔の説明があります。手術に必要な以下の同意書を記入し、看護師に提出してください。 - 手術説明同意書 - 麻酔同意書 - 輸血同意書 - 特定製剤由来同意書 - リハビリテーション同意書 【ご家族の方】 - 病室へ入室の際は、部屋の前で手指消毒をお願いします。	- 手術前オリエンテーションを行います。 - 深呼吸の訓練をしましょう。 - タバコを吸ってはいけません。 - マニキュアは落としてください。 - 術後は、病室が変わりますので部屋移動について看護師が説明します。	- 化粧はしてはいけません。 - 指輪、義歯、コンタクトレンズ、時計、ピアス等の貴金属類や湿布をはずしてください。 - 手術室に着替えて肺塞栓症予防のための弾性ストッキングを履きます。 - トイレを済ませストレッチャーに乗り、3階の手術室へ移動します。 - ご家族は、手術室入室前までに直接病棟へお越しください。 - 手術中、ご家族は2階のデイルームでお待ちください。 	- 手術終了後は、可能な限り足首の底背屈運動をしてください。 - 床ずれや合併症予防のために、ヒップアップをしましょう。 - 足の痺れや痛みなどが強くなった時はすぐに看護師にお知らせください。 - 主治医より、患者・家族へ手術の経過について説明があります。	<転倒予防について> - 左右確認を行いゆっくり移動しましょう。 - 身の回りの整理整頓を行いましょう。 - 歩行器を使用する場合は、ストッパーがなるまで支えはしないようにしましょう。 - テーブルを支えにして歩いたり、立ち上がらないようにしましょう。ストッパーがかからないものがあり、危険です。 - 履き慣れた靴を使用しましょう。 - 医師の許可があるまでは看護師と一緒に移動しましょう。	- 歩行が可能となったら、主治医の指示のもと肺塞栓予防のストッキングを脱ぐことができます。 - 医療保険等の診断書が必要な場合は、1階診断書窓口で手続きを行ってください。尚、書類作成には約2週間かかります。 【退院日】 - 病棟クラーク(事務職員)が会計票を、看護師が預けている内服薬を病室までお持ちします。病室でお待ちください。 	なんでもご相談下さい	
手術の準備物品		- 手術前日まで以下の物品を準備してください。 - T字帯2枚、平オムツ2枚(1階のロッソンに売っています)、曲がるストローまたは茶のみ、必要時スプーンやフォーク。 - 手術当日より、病衣借用が必要となります(1日80円)ので、専用の申込用紙に記入し入院総合案内受付に提出してください。使用しなくなった場合、使用中止の手続きが必要ですので看護師へ申し出てください。 - 手術後はリハビリテーションが始まりますので、履き慣れた靴や動きやすいスポンを準備してください。 - 手術後はコルセットを装着します。手術の前日までにコルセットの計測があります。後日、コルセット代金の請求書が届きますが、保険対象外となるため自費になります。 - 手術後は腰をかかえることができませんので、シャワー浴の際に柄つきブラシがあると便利です。							

この経過表は入院から退院までのおおよその経過をお知らせするものです。諸所の理由で経過通りにいかない場合もありますことをご了承ください。

宮崎大学医学部附属病院